

# アマチュア演劇を生きる

## ラジオドラマ台本 リーディング公演

2024年

6月30日

開場 13:00 開演 13:30

上演時間は、解説を含め約1時間半程度を予定しています。

会場 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター内アートプラザ

入場料 無料 定員 50人 要予約・先着順

予約

右のQRコードから  
お申し込みください。  
締め切り

6月28日(金)午後5時



主催 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター

企画・資料調査 五島朋子 鳥取大学地域学部

助成 鳥取大学地域参加型研究プロジェクト

制作 宮内はるか AnyMave 合同会社代表

問合せ: 五島 tgoto@tottori-u.ac.jp



芝生の丘を  
上ったところ  
に入口が  
あります。

鳥取市湖山町南 4-101

\*大学駐車場をご利用いただけます。

# アマチュア演劇を生きる —ラジオドラマ台本リーディング公演—

鳥取における演劇活動の足跡を辿ると、戦後すぐに創設されたNHK鳥取放送劇団が様々な役割を果たしたことが分かります。例えば、「鳥取演劇集団」「鳥取市民劇場」という長くつづいたアマチュア劇団は、放送劇団で出会った仲間たちによって誕生しています。また、ラジオドラマの書き手として、多くの鳥取の文芸関係者が参画して、鳥取を舞台にした歴史物、家族の物語、民話、あるいは戦後の社会が抱えた問題などを、台本を通じて描き出していました。関係者の方から鳥取大学地域学部の五島・岡村がお預かりした台本の数は150作品を超えます。1950年代から70年代にかけて書かれたものです。

今回その中から3作品を選び、鳥取県内で活動する演劇関係者の皆さんが参集し、朗読公演という形で上演いたします。鳥取の文化活動の蓄積を皆さんと一緒に振り返る機会となれば幸いです。

## リーディング作品

難波忠男氏が所蔵していたラジオドラマ台本から3作品を、鳥取で活動する演劇関係者が朗読上演します。合わせて作品・作家についての解説を行います。



<台本の表紙>

### 「夜泣きぶとん」

1963年2月23日放送 小谷治子作

小谷治子(1913-2003)

京都府に生まれ3歳の時に家族と共に朝鮮へ渡る。戦後、夫の故郷鳥取市に暮らす。同人誌『女人文芸』に参画。

### 「死水を下からとった話」

1952年9月30日放送 田中千禾夫作

田中千禾夫(1905-1995)

長崎市生まれ。劇作家・演出家。戦後劇団文学座の創立や俳優教育にも取り組んだ。戦時中、両親の故郷である鳥取市に疎開しており、鳥取を舞台にした戯曲を執筆したほか、鳥取、島根の演劇や文学関係者とも交流を持った。

### 「夜の人々」

1956年4月17日放送 山根優一作

山根優一(1933-1986)

鳥取市生まれ。NHK鳥取放送劇団に参加、大学卒業後、シナリオ作家として映画やテレビドラマの脚本執筆で活躍した。

出演者(予定) 所属など

石坂 修 劇創西社OHKUS  
石坂 心 鳥取城北高校・劇団星のふる町  
尾上 貴尉 劇創西社 OHKUS 代表  
加藤 浩史  
川上 ゆい 鳥取西高校  
小谷 伸  
ナカセ 劇団黄色い貨物列車  
中本 友菜  
浪岡弥真斗  
はまばゆかり カンセイの法則・EN+ER 企画  
引田 幹康 演劇ユニット小麦色  
牧 小雪 鳥取大学演劇サークル「劇団あしあと」  
松本陽太郎 鳥取大学演劇サークル「劇団あしあと」  
山本 裕晃 カンセイの法則



2024年4月 稽古風景

演出 尾上 貴尉 小谷 伸  
照明 藤森このみ 田中 哲哉  
舞台監督・音響 宮内はるか  
舞台補助 宮本 琉梨 鳥取西高校・劇団黄色い貨物列車  
作品解説 岡村 知子 五島 朋子

謝辞: 故難波忠男氏(1925年生—1996年没・鳥取市民劇場創設・代表)が所蔵されていたラジオドラマ台本(約150冊)を寄贈して下さった伊藤勝氏に深く感謝申し上げます。